高校阿部野新聞

発行所
大阪市阿倍野区阪南町中一丁目
大阪府立阿部野高等学校
新聞部
発行兼編集者
佐藤明

本校創立三十周年を迎う

新學校長に赤間先生

七日突如府教委が異動發令

表題先生は学制改革以来佳吉高校と本校校長とを御兼任されていたが、新学期を明日に控えた七日夕突如府教育委員会では、学校長の異動を発令。この度の発令により本校へは新たに大阪学芸大学講師赤間一夫先生が御着任された。

赤間先生御略歴

明治三十五年福岡県御出身
大正十一年福岡高校文科甲類御入学
大正十四年四月京都帝国大学法学部英法科御入学
昭和九年四月愛知県立新城農蚕学校教諭に御着任
昭和十二年四月兵庫県立師範学校教諭に御着任
昭和十四年三月大阪府立天手前高女教諭御着任
昭和十五年四月府立市岡高女教諭御嘱託
昭和十五年八月秋田鉱山専門高校法制一般経済講師
昭和十六年三月秋田鉱山専門学校教諭御着任、同十八年同校生徒主事
昭和二十四年五月秋田大学校の鉱山専門高校教諭御着任
昭和七年秋田大学講師御着任
昭和二十五年六月大阪学芸大学講師となられ、本日に至られた。

なお本校を惜しまれつつ去られた赤間前校長先生は昨日本校に辞任生徒の御健康を祈る次第である。

昨年会校待望のうちに本校舎へ全面復帰されその興奮未ださめやらぬ内に本年再び記念すべき本校創立三十周年を迎うるに至った。本校歴史をひもとけば大正十一年三月大阪府より修業年限五ケ年、定員一千名の第十一高等女学校として設立され第一期生諸姉が入学同時に初代校長には五条隆園氏が就任した。大正十二年四月、阿部野ケ原に厳然とそびえ立つ現校舎に完全独立校とし、名称を大阪府立阿部野高等女学校と改称したのであった。

多年にわたる歴史を重ね本年めでたく創立三十周年を向えるに至ったのは講和独立の年と共にまことに意義有るものといわねばなるまい。

この記念の式典のため学校として多くの事業が予定されているが例年の文化の日を中心とする文化、体育両記念祭以外に創立三十周年を記念する式典が予定されている地方記念事業に目を向ければ昨年度より予定されていた図書館及び運動場拡張工事があるが、図書館は学校、PTA、同窓会関係者の三本建てで着々構想も進められている。運動場拡張は以前は隣接地も同時に販売された。

昔の白線時代のように肩で風を切っている人は一人も見当らない。肚の中に自信や誇りを持っているのかどうか少しも分らない。うつ向いてとぼとぼと歩いている人が多いも。戦争にまけ貧乏になったからかもしれない。平和条約ができても、国の独立を疑っている顔ばかりである。

空疎な肩肱つった青年風な覇気は過去のものとして葬り去り、自己の底から湧き上る新文化形成の

秋には記念式典擧行

圖書館運動場擴張も實現

三十周年を迎えて

同窓会長第一回卒業生　山本敏枝

新鮮な春、新入学生諸君に紙上からお祝いの挨拶をおくる。新鮮な木の芽のような諸君を迎えることが、いかにも嬉しい。

かつて白線をつけ、襟衣破帽を誇った一かの金色夜々の貫一に見た旧制高校の生活は、全国の秀才から選ばれた少数者のグループによって営まれた。俗世間から一歩も一歩も超脱して、孤高の塔に立てこもり、若人の純真さと情熱を傾け合ってお互に磨いたのだ。彼らには強い自信と誇りがみなぎっていた代り、肩で風を切り外の世間を見下す傲慢と独善がつきまとった。書生気質とは面白い。

今の高校の性格は変って、中学を出てもっと勉強したい人々のため、八〇%まで門を開かれた大衆的な教育機関になった。とはいっても、小学卒業者総数から見れば平均二・三〇%そこそこの少数者に過ぎない。その点からは、今の高校生諸君だって選ばれた人に違いない。選ばれたというても矢張り大祭的なものではある。そこの所から今の高校生の在り方というものが導きだされるだろう。

今の高校生諸君を見ていると、私達が饅頭い旧校を巣立ちまして、より早や二十五年の歳月は夢の間に過ぎ今年は母校創立三十周年、同窓会は二十五周年を迎へることになりました。私達卒業生にとり此上もない喜ばしいことできます。この三年といふ歳月は容易ならぬ歳月で我国未曾有の大変動があったのでございます。

この間彼の荒かった中を鬼角乗越えて府立高校として今日のこの声望をかち得ましたことは洵に御同慶に存じます想い起せば大正十二年府立泉尾高女の一隅で孤々の声を挙げたのでした。当時は府立第十一高女と呼ばれその翌年は名を阿部野高等女学校と改称され仮校舎に移りました元祖の着物に長いブルーの袴をはいたおさげ髪が十有五にして学に志した私たちの憧れの女学生の姿でした。その後順調に母校は発展して参りましたが戦後教育史上未だ且て経験したことのない教育の大改革に見舞はれた男子の方は旧佐吉中学より交流せられ校舎は新制中学に貸さねばならなくなったりその間に統廃合の問題まで起ったり一時はどうなる事かと卒業生はどんなに憂慮した事か、今では校地は拡張され校内は整備され高等学校として進展すべき基盤を得て而立の年を迎へたのでございます。何んと喜ばしいことでせう。私達は益々自重致し、まして立派な生活を営み母校の声誉に恥することなく先生方の永き御恩に御報いまいらせるよう努めなければならないと存じます。誇るべき校風を樹立されました初代五条校長先生と甘美なる温情で二十余回生殆どの生徒の薫育に没頭された保井先生が既に鬼籍に入られこの喜びを共にして頂けないのは遺憾の極みでございます。

本校の今年度入学試験者数は三三一名であるが現在（三月三十一日）総員一千名の第一高等女学校として設立され第一期生諸姉が入学同時に初代校長には五条隆園氏が就任した。大正十二年四月、阿部野ケ原に厳然とそびえ立つ現校舎に完全独立校とし、名称を大阪府立阿部野高等女学校と改称したのであった。

多年にわたる歴史を重ね本年めでたく創立三十周年を向えるに至ったのは講和独立の年と共にまことに意義有るものといわねばなるまい。

この記念の式典のため学校として多くの事業が予定されているが例年の文化の日を中心とする文化、体育両記念祭以外に創立三十周年を記念する式典が予定されている地方記念事業に目を向ければ昨年度より予定されていた図書館及び運動場拡張工事があるが、図書館は学校、PTA、同窓会関係者の三本建てで着々構想も進められている。運動場拡張は以前は隣接地も同時に販売された。

新入生諸君を迎える

―選ばれた人という意味―

学校長　志賀平

新高校生諸君だって選ばれた人に違いない。選ばれたというても矢張り大祭的なものではある。そこの所から今の高校生の在り方というものが導きだされるだろう。

今の高校生諸君を見ていると、私達が饅頭い旧校を巣立ちまして、より早や二十五年の歳月は夢の間に過ぎ今年は母校創立三十周年、同窓会は二十五周年を迎へることになりました。私達卒業生にとり此上もない喜ばしいことできます。この三年といふ歳月は容易ならぬ歳月で我国未曾有の大変動があったのでございます。

この間彼の荒かった中を鬼角乗越えて府立高校として今日のこの声望をかち得ましたことは洵に御同慶に存じます想い起せば大正十二年府立泉尾高女の一隅で孤々の声を挙げたのでした。当時は府立第十一高女と呼ばれその翌年は名を阿部野高等女学校と改称され仮校舎に移りました元祖の着物に長いブルーの袴をはいたおさげ髪が十有五にして学に志した私たちの憧れの女学生の姿でした。その後順調に母校は発展して参りましたが戦後教育史上未だ且て経験したことのない教育の大改革に見舞はれた男子の方は旧佐吉中学より交流せられ校舎は新制中学に貸さねばならなくなったりその間に統廃合の問題まで起ったり一時はどうなる事かと卒業生はどんなに憂慮した事か、今では校地は拡張され校内は整備され高等学校として進展すべき基盤を得て而立の年を迎へたのでございます。何んと喜ばしいことでせう。私達は益々自重致し、まして立派な生活を営み母校の声誉に恥することなく先生方の永き御恩に御報いまいらせるよう努めなければならないと存じます。誇るべき校風を樹立されました初代五条校長先生と甘美なる温情で二十余回生殆どの生徒の薫育に没頭された保井先生が既に鬼籍に入られこの喜びを共にして頂けないのは遺憾の極みでございます。

本校の今年度入学試験者数は三三一名であるが現在（三月三十一日）総員一千名の第一高等女学校として設立され第一期生諸姉が入学同時に初代校長には五条隆園氏が就任した。大正十二年四月、阿部野ケ原に厳然とそびえ立つ現校舎に完全独立校とし、名称を大阪府立阿部野高等女学校と改称したのであった。

多年にわたる歴史を重ね本年めでたく創立三十周年を向えるに至ったのは講和独立の年と共にまことに意義有るものといわねばなるまい。

この記念の式典のため学校として多くの事業が予定されているが例年の文化の日を中心とする文化、体育両記念祭以外に創立三十周年を記念する式典が予定されている地方記念事業に目を向ければ昨年度より予定されていた図書館及び運動場拡張工事があるが、図書館は学校、PTA、同窓会関係者の三本建てで着々構想も進められている。運動場拡張は以前は隣接地も同時に販売された。

新聞部員募集

取材、整理、編輯、校正、庶務

初心者歓迎

申し込みは南館二階部室迄

解説　編集權

現在高等学校の三分の一の学校が新聞を生徒の手に依って編集、発行し、新教育に大きな教育効果をあげている。しかし高校新聞の指導は難かしく、学校新聞の編集権をめぐり学校と生徒側とのトラブルは今までかなり多くく、今後の高校新聞の残された課題である。

では編集権とはいかなるものであろうか？新聞、雑誌出版のような公共的性格の事業の場合にがいては、その発行する出版物の内容について編集の最高責任者が外部のいかなる力にも影響されることなく、その良心と責任とをもって編集方針を決定すべきものであり、この編集最高責任者の独立した権利を編集権と呼ぶのである。

では学校新聞の編集権はどこがもっているか？最近の有識者の風潮を探ってみよう。

「編集の主体性は生徒側に与え、それが誤った方向に行使される場合は編集権をもつ学校側がその正しい運用を指導するのが望ましい」（東大、千葉雄二郎教授）

「現在学校新聞は学校全体のものとなりつつあり、教育的なものであるから編集権は最後的には校長にあると云わねばならぬ（全国新聞協会代表者）」

即ち編集権は学校側にあるが、これは追いつめられた立場に立って始めて行使される性質のもので、問題をそこまで追いこまないように学校側は指導しなければならないといったところに落ちつきそうである。

なおY紙が昨夏、高校新聞顧問教官三千五名に対しておこなった「学校新聞の編集権はどこがもっていると思うか」という調査の結果

学校側…七六%
生徒側…二四%

のような結果になり、見解の不統一を示している。

漢文、倫理必修ぜず

柔道は昨年同様實施

本年度教務方針はほぼ昨年度と同様であり、一年三期、週五日制を採用して行なわれる。

問題となっていた漢文科必修及び倫理科設置は本校では行われない。

三五五三坪中運動場二五五〇坪であったのが樫影校舎跡の貴取等によって総校地は五七二八坪中全運動場面積四七二三坪となりほぼ二倍の広さとなる。

この外五百坪が予定地となっている。

この秋の諸事業は画期的大事業としてはたまた本校の学力レベル向上と相まって本校の存在を満天下に示すべき契機たらんことが期待される。

「聖火」を無償配布

新一年生に対し本校自治会では、入学祝に「聖火」第三号を無償配布した。なお自治会入会金は昨年度より五十円であり、点呼当日は三本建ての三本建ての

新入生クラブ歓迎會

総選擧までに擧行

恒例の新入生クラブ歓迎会は現執行委員会意向では来る十五、十二日の間に前期総選挙と平行し、現執行委員会が中心になり行うもようである。なお詳細は追って執行委員会より発表される。

目立つ

昭和二十七年度国立大学願書締切は科十三・五倍等、有名大学は十倍あったが他の部門も文字通りの狭き月三日より志望校で一斉に行われを含めて合計二二名が受験、そ立大学をはじめ続々と合格者が本目立って猛加したことが判明した。

本校の今年度入学試験者数は三三一名であるが現在（三月三十一日

ある。例えば自治権の問題にしろ、学生、阿倍高生でなく、なれは総選挙に関しても投票権はない。これらを推してみれば自明の理であろう。

いまわれわれは独立の年を迎え、本校創立三十周年を迎えそして昭和二十七年度前期総選挙を迎えようとしている。われらも自己のなすべき事に全力を尽そう。それは自治活動への参加もまず可能になるだろうそして各人がそれぞれの持場に最善を尽した暁には、勝利が待っている。われわれは勝利を信じよう。信じんがためには自己の最善を尽そう。ベストを尽せフレンドよ！

自治活動と勉学は両立するか

論説

一昨八日より昭和二十七年度が始った。昭和二十七年―この年こそはわが国が独立する年であり、また本校創立三十週年を迎えるときでもある。内外共に緊迫した状勢裡に、独立の年を迎え、そして創立三十周年を迎えるわれわれ阿部高生には、今年こそはとの新年度を迎えその心意気がある事と思う。この時われわれの自治会に目を転ずれば、昭和二十七年度前期総選挙があるからでも始められようとしている。この来るべき総選挙を迎えるにあたり、われわれは

職員室で、そしてわれわれ生徒間で問題になり、且また大きく波紋を社会に投げかけている問題に、自治活動と勉学は両立するかとうわれわれの最大の関心事がある。

本校第四期卒業生は去る二月二十三日、いまこそわかれめ、いざさらばと阿部野ケ原を巣立ち行き、或る者は象牙の塔をと目指して一路まい進し、いまやその成果が本号別稿の如き結果としてあらわれて来ているが、かつて本校自治会の猛者といわれた人々

クラブ活動にエネルギーをそそぎこんだ人々等々それらの人々の中に、入試に敗退の憂目をみた人々少くなかろう。また「スポーツシーズンを前に早稲田大学では有名運動選手が三十日の卒業式で大量落第という憂目にあった（四月一日附産業経済新聞）」の示す如き現象があらわれている。この早大の問題は次いで慶応大学にまで波及、翌二日の新聞は「慶大でも三名の有名選手の落第があった」と報じている。これら一流選手の落第問題は学生スポーツのあり方について今後多くの問題をのこしている。しかし選手制度自体については種々批判はあるが学生活とスポーツ即ち自治活動

と両立させることは決して難い事ではないと信じる。

話は大学に言及したが、われわれに一番身近な本校について考えてみよう。昨年度卒業生が残してくれたこの問題、即ち自治活動と勉学は両立するかと云う問題は、結論から先に云えば明らかに両立するのである。一昨年度卒業生は語っている。

「運動と勉学は両立しますと」もし自分の双肩に阿部高の興廃がかかっているとしたならば、もし自分がしっかりやらなければ、阿部野の運命は我らが母校阿部野高校のために、こう考えるとおのずから体内には生気がみなぎる。ここにおいて始めて勝利が得られるのである。もっとも個性の問題もある。自分の学力ではむりであるとわかっている。でもそれをそのままあきらめるのは余りにも早計である自己の最善を尽すのである。そして自己の最善を尽したその彼岸には天命に左右される事のない勝利がまっている。もしこれまでしても勝利を得る事が出来ない時は、試験制度が悪いのだと考えてよい。しかるに現在われわれの周囲をみるに、おのれ全力、最善を尽すして「人事を尽して天命を待つ」という人々がいる。かかる人こそ勝利を得すして「天命われに味方せず」と慨嘆するのである。大いなるあやまりといわねばならぬ。

両立するか、せぬかの問題は今や彼岸の火事ではなく、われわれ身近な問題になって来ている。しかしわれわれは声を高かにして勉学と自治活動は両立すると叫ぶ。しかしいかにすれば両立するかと考えるに、新三S政策とでも云うべきスピリット（精神）スタディー（勉学）セルフ・ヘルプ（自立）を根底にし、各人がそれぞれの持場々々を死守、即ち自己の最善を尽すことが肝要である。しかしここで誤解やすい事は、勉学と自治活動を天びんの両端にかけて対等に取り扱うということである。これはまた誤りである。われわれは阿部高生と名付く学生である。学生なるが故に勉学にいそしむ事を本分とすべきで

自治会顧問談

た事で何も新しいと云して云うならば生物を考え、行動するためKYS肺活量計、同握力計、同メーター背筋力計各一台を購入本年度より生徒の使用も許可される（写真は肺活量計を実験する荒井先生）

肺活量計ら購入

本校保健衛生課では今秋の体力測定等に用いる

如何に樹立すべきか

三十周年に当ります。延四千七百名にものぼる本校派に成人され今や大社会を舞台に大活躍をされている周年記念祭は今年の秋の文化の日を中心に多彩な行当新聞部もこの記念すべき式典の一端をになうべくることになりました。

び諸先輩の積極的な御援助のもとに行われることに題には我々新学生の新らしい学校生活を樹立させる代学生必至の問題である。「新校風は如何に樹立すべ心な応募は必ずや我が阿部高の未来に対して何らかの御賛同、御協力をお願いする次第であります。期日、賞品其他の詳細は追つ発表致します。

新声部

祝格

すべき事柄であろうでは府下の殆ど上位いなく、後輩への良いる。後判明分は次号に掲ある。

本校大學別合格者名

東京大學（一名）島田【理科一類】
大阪大學（十四名）【薬】山本、中本【歯】建石【工】小倉園田、福島【法】能登、益田、江本【文】野口、雉本、忠津、木村、谷本
京都大學（九名）【法】井戸本河村、泉、機谷、天富【工】佐野光、岸尾、鴨木【理】戸田
神戸大學（三名）【経営】道満、杉本【理】植田
大阪市立大學（二十名）【商】海野、野崎、岡本【文】佐野和、佐武、斉藤【法】下村、西田【経】吉岡、瀬川、益田、桂金田、石井【理】沢田、兎本【家政】田中、奥田、中尾、高橋
大阪女子大學（五名）【社会】大橋【生活】斉藤【国文】福永、桐本（石黒）
北海道大學（二名）【法】玉国、岩瀬
早稲田大學（四名）【法】藤本【文】鍛冶【商】松岡
慶應大學（一名）【法】奥村
同志社大學（五名）【商】友田、久野【法】岸本、阿部【文】奥村
近畿大學（二名）一柳、伊庭
關西大學（一名）【商】日野
關西學院大學（十二名）【経】小森、江本、北野、小久保、小倉、和田、西、永沼【商】織田【文】高木、福井、北吉
中央大學（一名）【法】茨木
一橋大學（一名）【社会】西岡
大阪工業大學（四名）【工】石脇、中尾、南、池川
大谷女子短期大學（五名）【被服】宮下、田中、生駒【家政】木村、奥田
大阪薬科大學（四名）岡本朋
縣立神戸商科大學（一名）一本
樟蔭女子大學（六名）【国文】篠原、柳田【生活】桃谷【被服】井上、中沢、浅野
神戸女學院大學（一名）【英文】近木
武庫川女子大學（一名）【国文】植村
帝塚山學院短期大學（九名）【英文】近木【文芸】大菊、小西【食物】桃谷【中井、中川【被服】縄田、森田、高橋
浪速大學（七名）【工】谷中藤徹、田中秀、西岡【船舶】長沢【教】石脇【農】辻率、松佐
長崎大（一名）【薬】長倉
和歌山大學（三名）（経）高田佐藤徹（理）矢田
大阪外國語大學（三名）岡本・藤井・小野
聖和女子短期大學（一名）（保育）和田
大阪學藝大學（八名）森口・河井田中・城地・江夏・西元・森川小倉
関西學院短期大學（一名）商科）中田
甲南大學（二名）（経）中田（理）藤田
商船大學（一名）西田

針水

本年は阿部野ケ原の真中に本校が創立され満三十年となる、本校もようやく立派な壮年となった訳だ▼第一期卒業生は少くとも満年令で四拾二才の良き社会の母となっておられる▼この秋の記念祭はさぞ意義深く行われるであろうが運動場拡張、図書館建設等々の夢は必ず実現させて欲しいものだ▼この佳き年に入る一年は全く幸福である。さて新入生といえば本格的な入試も結局普通の試験同様父兄のみが青い顔をしてふるえておられたようだが、大学受験はそうは行かない▼さてさて一寸焦点がぼやけるが卒業生が卒業式当日何か起しかけたの御存じ？一、食堂破壁。二、……騒擾。これも小さく大きな問題▼天野文相の漢文・倫理科・国民実践要領等大きな〝コダマ〟があったが本校生は大体賛成のもようだ。「漢文復活云々より、何故止めたかが問題」「現在の学生道徳のタイ廃振りは見るに忍びぬ」等々の意見も一応考える必要がある▼高校教育の機会均等のため新高校設置に関する問題「折角作った学校も縮局青春集のしゆう態を演ずるようでは、結局冗費となるばかりだ。それより各個々の高校の設備拡充が最上の問題だ」とは府庁学事課の話▼他府県のアチラコチラで男女共学に大きな批判の声がある。幸いにして本校は健全らしいが結局各人の自覚が主要問題だ。▼ともあれ今後一年各人奮励努力せよ。

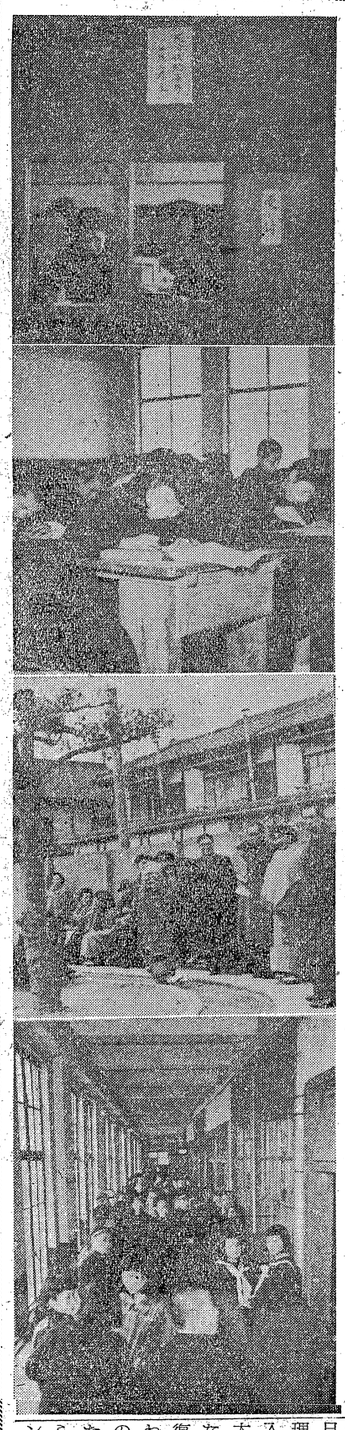
祝
御進級
「今学期も懸命にサービスの改善と品質の向上に努めます御利用を仰ぎます」
火・金參上
大阪市東区森之宮東之町市電停前
大阪東成四区大今里北之町新興市場東一丁
大阪府北河内郡四条村字野崎
萬年筆卸小賣
谷野商店

樂器・蓄音器・レコードの御用命は
響榮樂器へ
阿倍野筋七の六八
上町線東天下茶屋駅東の辻角
電話　天下茶屋(66)2462

學習參考書圖書館用品
新学期用參考書及辞典類豊富に取揃えました
日曜營業　毎日曜とも平常通り開皆様の御來店を御待して居ま
Ⓜ丸善　心斎橋筋北四丁
電話船場(25)2621

かくて新入生は來りぬ

昭和二十七年度新入生三六五名は四月入日、大阪府立阿部野高等学校第七期生として、本校に入学が許可された。これで上は三年生から下は新一年生と全て〝新制ッ子〟の集りとなつたが、彼ら新制中学三期生達の本校入学過程をペンとカメラで探つてみた題して曰く「かくて新入生は来りぬ」―



①閑古鳥 鳴く願書受付

昭和二十七年度公立高校願書受付は去る三月二日―八日の一週間に亘つて毎日午前九時から午後三時まで行われたが、各受験生たちは日和見が多く、本校は市立鶴見橋中学の工君を筆頭に総計四二三名の願書提出があり、学校当局の見込み数四五、六十名にはやゝ下廻つたが、姉妹校住吉高（十一時撮す）

②一心不乱に筆をとる受験生たち

公立高校入試は去る三月二〇日、府下一斉に同一問題で行われたが本校受験生四二三名中四一四名（九名取消し）が九室に分れて、中学調査書の総決算と各室三名の試験監督官に見守られて一心不乱に筆をとつた。（同二〇日午前十時撮す）

③甲羅干す父兄ら

一方附添の父兄及び中学校教官達は寒空に学校当局殿堂の煙突を各所に移動、ふるえながらも我が子の出来如何と待つ父兄らの心配そうな顔々々…。（同二〇日午前十時三〇分撮す）

④廊下にあふれる受験生

入試第一時間目終了後、答案整理のため、全受験生を廊下に追い出した。「キミ出来た？」「アンタ出来た？」自信満々と語り合つてはいるものの一抹の不安は心を去らないらしい受験生たち。（同二〇日午前十時四〇分撮す）

⑤貼り出された問題に見入る人々々

入試第二時間目のとき、学校当局の親心？か、入試問題を本紙速報板に貼付。わかるとわからざるとも一応は見たい親心―中には中学校教官らしき人達、一心に問題をノートする。市内某高校では問題が何者かの手により取り去られたと聞くが、さすがは名門アベノに来る人々、そんな人はいませんナでもいずれも心配そうな顔つき。（同二〇日午前十二時撮す）

⑥入試發表、掲示板前の人々々

公立高校入試発表は去る三月二十四日午前十時から府下一斉に行われたが、本校は例年の如く事前に自治会掲示板に貼付したが、スベツタ者の数は、数えるほどしか居らず、「ヒイフウミイ……」スベツタ数を数える人もいた。本紙調査部統計課の統計によると末尾六の組が一番よくすべつており昨年のラッキー、シックスの逆を行き、世は〝逆コース〟ばやり。（同二十四日午前十時撮す）

⑦商賣上手の自治會

新入生の便宜を計つてか？本校自治会では、入試発表の二十四日、早くも校章、バツチ、ボタン等々を校門横で時販売所にて販売―でも大し売れ行きではなかつたらしいでネ。（同二十四日午前十時三〇分撮す）

⑧かくて入学せり

かくて入試を突破した三六五名の新一年生たちは同二十五日行われた点呼に父兄同伴で参加、二十七日のコース提出と英、国、社、数理の実力考査をうけ、四月八日の入学式をもつて、市南の学術殿堂大阪府立阿部野高等学校の住人となり、以来三年間、阿部野ケ原の復興と祖国再建を双肩に、そしてわれらが後輩として、阿部野高校の名声をいやがうえにも高めんがために日夜努力するのである。彼ら三六五名の前途に幸多かれと、ペン子は祈る―（四月一日撮す）

昨今問題になつていた漢文科必須問題は本年度本校では従前通り選択科目としての採用する旨教務から発表があつたが、過日本紙社会部が全校生に行つた世論調査の結果、回収票数六二四票中、漢文科必須に賛成は三十一（五割）反対二五一（四割）他はどちらでもよい或はわからないとの票であつた。なお職員室の九割迄の先生は漢文科必須に賛成のむきである。次に本調査にあらわれた両派の意見次の通り

必須に賛成……生徒側
先生も九割まで賛成

【賛成】

国語、国文ノ根幹ヲナス故ニ（国語科教官）

高校教育として漢文位は必要である（社会科教官）

人格完成（理科教官）

現在の漢字数は少な過ぎる、故に漢字を習わなければならぬ（一年男）

中国古典の理解のためにも（二年男）

日本人であるから…（二年男）

【反対】

現在本校の行つているままでよろしい（英語科教官）

今さらやつても仕方がない（二年男）

日本語だけで精一杯（二年男）

当用漢字が実施に逆行する理由を以て反対する（二年男）

当用漢字が無駄になる、復古調、国粋主義を恐れる（二年女）

大体以上のようであるが、「生れた時からすかん」「おもしろくないから」「むつかしい」等々の理由をもつて反対しているものも多々見受けられ、今後本校が選択科目として行う漢文教育にも大いなる示唆をあたえるだろう。

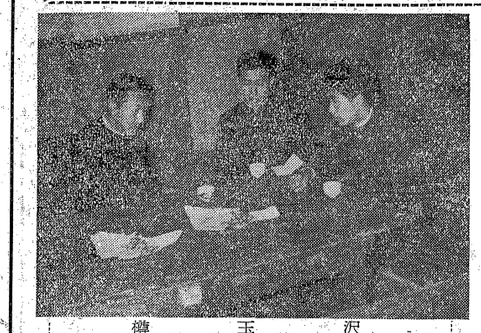
世論調査 漢文問題

然し総体的に見受けられる現象だが、理由の提示なしの回答が九割近くある事は本紙の調査方法の不備もある事ながら、各自が確固たる理念に欠けている事を如実に表わしているとみてもよいだろう（T）

大學入試を突破して
結局英數が最大の鍵
夏休みはだれるね

談　鼎　本紙主催

彼方にそびえたつ〝象牙の塔〟を目指して日夜勉学にいそしみ、遂に待望の栄冠をかち得られた三先輩におの集り願い、体験談、苦心談等々を〝大学入試を突破して〟と題して縦横に語つてもらつた。



出席者　順序不同

沢田　洋君　大阪市立大学理学部新聞・歴研

玉国軍秋君　北海道大学文類送球

樓谷俊彦君　京都大学法科蹴球

司会　合格お目出度うございます。本日のテーマとしましては、「大学入試を突破して」というようなもので進めていきたいと思います。

玉国　まず志望校の事からお話を進めようか。

樓谷　僕は一年生時分からきまつていた。

玉国　最初は大きな目標をきめておくのが普通だが、一年生頃からきめておく良いネ。

沢田　まず迷わない事だヨ。ある目標を立てゝ、そこまでたどりつくようにする。それが駄目なら次の段階に入れば良い。

樓谷　勉強をやらねばならんと思い始めたのは、三年生になつてからだ。一学期は大分やつたが沢田　夏休み、文化祭の頃は、ちつともやれなかつた。

樓谷　やはり一学期が最も緊張した。二学期もやるにはやつたが気持だけだネ。夏休みはあまり能率があがらなかつた。修学旅行の前後は大分ぬけた。あとから慌てゝやり出したヨ。

司会　七月は合格後の現在の御心境を。

玉国　一応の決心はしたネ。僕は高校時代の時のように小さな問題にとらわれず、何か社会に認められるような仕事をやりたいネ。

樓谷　同じような気持だネ。でもパスしたということを聞いた時何か解放されたような気がしたネ。やはり高校には、わからないけれど、束縛するものがあるんだネ。

司会　七月は合格後の現在の御心境を。

玉国　一応の決心はしたネ。僕は高校時代の時のように小さな問題にとらわれず、何か社会に認められるような仕事をやりたいネ。

樓谷　同じような気持だネ。でもパスしたということを聞いた時何か解放されたような気がしたネ。やはり高校には、わからないけれど、束縛するものがあるんだネ。

落着けぬ數日間

沢田　僕はパスしたのが不思議なくらいだ。中途でやめようなんて思いだして会然やらなかつたのに。

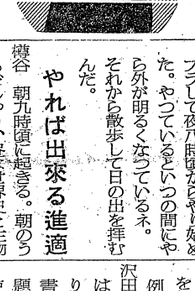
玉国　僕は合格した電報をうけとつたんだが不安だつた。この目で確かめんことにはネ。電報は誤りもやないかなんて思つたりしてネ。

有効だつた模試

司会　それでは今度は大学入試のいろいろな体験談を。

玉国　模擬試験は良いネ。受験勉強は、最初は苦しくなる。

樓谷　受験勉強は、最初は苦しくなるいんだしかし半月程前になると非常に苦しくなる。しかしどうせ一度は苦しむことだからやり通すことだ。苦しさなしで通ることは非常に難しかいヨ。



玉国　模擬試験は良いネ。受験もそのようにされましたか。

樓谷　やはり自分の実力というものを考えてあまり無理をしないようにした。

司会　大学の選択については、どうされましたか。

樓谷　科目の選択については、大分考えた。でもやはり自分の性質に適したものを選ぶ必要があるネ。

玉国　そうですネ。夏休みはだれて駄目です。

受験勉強はかく行う

司会　受験勉強の最も確実な方法を御披露願いたいのですが…

樓谷　僕は、正月迄暗記物に手をつけず数学と英語をやつた。特に数学が弱いのでこれは最後迄放さなかつたが、三学期になつて二月十日が確か最後の模擬試験だつたと思うが、それが終つてから暗記物に乗り出した。化学とか世界史とか。

玉国　夏休みには必ず英・数はやる必要があるネ。

沢田　夏休みには物理をやつた。

司会　受ける科目の選択について司会　受験勉強はかく行う